

講義シラバス									
科目名	プロフェッショナルへの道Ⅱ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	土井 恵美	講師 プロフィール	大阪で美容師スタイリストを経験後、滋慶学園福岡ベルエポック美容専門学校に入職。 札幌ベルエポック美容専門学校に異動後は全学科の教務を担当 コンテスト経験も多数あり、美容実習、美容技術理論の資格も保有しています						
【授業を通じての到達目標】									
プロフェッショナルへの道の授業を通じて学年目標、クラス目標、個人目標を達成する よりよい学校生活を送るための身構え、気構え、心構えを身に付ける									
【学習内容】									
目標設定をして振り返りを行う 社会人の基礎力を身に付け、2年生の就職活動に向けての基本、知識を学びます									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具 ”就職活動”冊子・”新社会人の基礎力”冊子(この2冊は常に準備しておくこと) →最初の授業で担任から配布します									
日時	授業計画			日時	授業計画				
① (9/20)	【到達目標】 就活の教科書 ～福利厚生について～ キャリアセンター紹介 ～マナー教育～			⑨ (11/22)	【到達目標】 サロン体験について				
② (9/27)	【到達目標】 就活の教科書 ～自分に合ったサロン選び～ ～サロン見学の申し込み方～			⑩ (11/29)	【到達目標】 履歴書 自己PRについて				
③ (10/4)	【到達目標】 就活の教科書 ～サロン見学の仕方～ 東京研修について			⑪ (12/6)	【到達目標】 履歴書 志望動機				
④ (10/11)	【到達目標】 履歴書作成 ベルの履歴書の種類の確認 履歴書の書き方			⑫ (12/13)	【到達目標】 採用試験～内定までの流れについて①				
⑤ (10/18)	【到達目標】 履歴書作成 まずは左半分を仕上げてみる 就活でのポートフォリオやSNSの見せ方について			⑬ (12/20)	採用試験～内定までの流れについて② お礼状、送付状などの書き方について(参考資料配布)				
⑥ (10/25)	【到達目標】 授業アンケート 学年末コンテストについて共有 コンセプトシートについて説明			⑭ (1/17)	【到達目標】 就活面接について ～実際に面接練習をやってみよう～ 学年末コンテストに向けてコンセプトシート作成				
⑦ (11/1)	【到達目標】 ポートフォリオ作成 国家試験について			⑮ (1/24)	【定期試験】60 定期試験 就活の教科書より出題 入学して1年経って目標に対しての振り返り 2年生になって頑張りたいことを書き出してみる サロン体験について最終確認 精勤、皆勤表彰				
⑧ (11/8)	【到達目標】 TOPサロンについて			【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	美容実習Ⅱ (カット&スタイリング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	大澤 慶太、土井 恵美 (ON THE林、fika葛西、 asterisk佐藤)	講師 プロフィール	大澤:原宿ベル第1期卒業。美容師、ヘアメイクを経験し、現場で働きながら原宿ベルの講師として教育に携わる。 土井:大阪で美容師スタイリストを経験後、滋慶学園福岡ベルエポック美容専門学校に入職。現在は全学科の教務を担当。コンテスト経験も多数あり、美容実習、美容技術理論の資格を保有。						
【授業を通じての到達目標】									
基本となる何種類かのカットスタイルの切り方を習得しクリエイティブなカットスタイルまでできるようにする									
【学習内容】									
実際にウィッグを使ってカットしブロースタイリングを学ぶ									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
カットシザー道具一式(シザー、コーム、ダッカール、スプレイヤー、デンマンブラシ、ドライヤー、タオル4枚程度)									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/23,24)	【到達目標】				⑨ (11/19,25)	【到達目標】			
	グラデーションカット テストウィッグをブラッシュアップ 後半 アニメキャラのヘアを作る 展開図を考える					メンズカット ショート メンズスタイリング			
② (9/30,10/1)	【到達目標】				⑩ (11/26,12/2)	【到達目標】			
	座学 カット用語と理論を学ぶ 後半実技 アニメキャラのヘアを作る					カットスタイルにパーマをしてみる (レイヤーウィッグ)			
③ (10/7,8)	【到達目標】				⑪ (12/3,9)	【到達目標】			
	マッシュスタイル(前上がりボブ)デモ 実際に切ってみる					カットウィッグにブリーチホイルワークをしてみる			
④ (10/14,15)	【到達目標】				⑫ (12/10,16)	【到達目標】			
	マッシュスタイル2回目 最後まで切る ブロー					ブリーチウィッグにオンカラー			
⑤ (10/21,22)	【到達目標】				⑬ (12/17,23)	【到達目標】			
	マッシュスタイル チェック 前髪カット (ストレート、ラウンド、アシメ、フェザー)					学年末試験に向けてデザインウィッグのスタイリングを学ぶ			
⑥ (10/28,29)	【到達目標】				⑭ (1/20,21)	【到達目標】			
	ディスコネカット (レイヤーウィッグ使用)効果的なカット					学年末試験に向けて 仕込み イメージボード制作			
⑦ (11/5,11)	【到達目標】				⑮ (1/27,28)	【定期試験】60			
	ディスコネカット2回目 (グラデーションウィッグ使用)デザインカット					学年末試験			
⑧ (11/12,18)	【到達目標】				【成績評価の方法と基準】				
	刈り上げスタイル ツーブロック (ディスコネウィッグ使用)メンズロング				●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	美容実習Ⅱ (ヘアアレンジ &メイク)	必修 選択の別	選択	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	大澤慶太、土井恵美 園田翔太郎 (メイクアップアトリエ)	講師 プロフィール	大澤：美容師、ヘアメイクを経験し、現場で働きながら原宿ベルの講師として教育に携わり現在に至る。 土井：大阪で美容師スタイリストを経験後、滋慶学園福岡ベルエポック美容専門学校に入職。コンテスト経験も多数あり、美容実習、美容技術理論の資格を保有。 園田：サロンにてアシスタント・スタイリストとしての経験を積んだ経験を活かし、ベルエポックで学生教育に携わる。						
【授業を通じての到達目標】									
基本的なヘアアレンジ技術&メイク技術を身につけ、作品撮りや撮影に必要な技術を身につける。									
【学習内容】									
美容師として活躍するために必要なヘアアレンジとメイクの技術の幅を広げる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式、筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/18、 23)	【到達目標】小テスト2点				⑨ (11/20、 25)	【到達目標】小テスト3点			
	オリエンテーション ブルベ・イエベ(自己診断) 相モデル					成人式ヘアアレンジ			
② (9/25、 30)	【到達目標】小テスト2点				⑩ (11/27、 12/2)	【到達目標】小テスト3点			
	キュートメイク 相モデル					ブライダルヘアアレンジ(ヘアチェンジ)			
③ (10/2、 7)	【到達目標】小テスト2点				⑪ (12/4、9)	【到達目標】小テスト3点			
	エレガントメイク 相モデル					コンセプトシート作成手順の説明、メイクバリエーションの復習(アイシャドウ、眉毛など)			
④ (10/9、 14)	【到達目標】小テスト3点				⑫ (12/11、 16)	【到達目標】小テスト3点			
	クールメイク 相モデル					ヘア&メイク作品撮り サロンスタイル 相モデル①			
⑤ (10/16、 21)	【到達目標】小テスト3点				⑬ (12/18、 23)	【到達目標】小テスト3点			
	混ぜ色大会、腕グリッター					ヘア&メイク作品撮り サロンスタイル 相モデル②			
⑥ (10/23、 28)	【到達目標】小テスト3点				⑭ (1/15、 20)	【到達目標】小テスト3点			
	傷メイク					定期試験用コンセプトシート作成、練習			
⑦ (10/30、 11/1)	【到達目標】中間チェック5点				⑮ (1/22、 27)	【定期試験】60点			
	ハロウィンヘア&メイク					定期試験 ヘア&メイク作品撮り コンテスト(テーマ：コレクション、ショー) 相モデル			
⑧ (11/6、 18)	【到達目標】小テスト2点				【成績評価の方法と基準】				
	キッズヘアアレンジ				●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	美容実習Ⅱ (カラーリングデザイン)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	大澤慶太、土井恵美 (生井、高井、高橋、福 士、望月)	講師 プロフィール	大澤：原宿ベル第1期卒業。美容師、ヘアメイクを経験し、現場で働きながら原宿ベルの講師として教育に携わる。 土井：大阪で美容師スタイリストを経験後、滋慶学園福岡ベルエポック美容専門学校に入職。現在は全学科の教務を担当。コンテスト経験も多数あり、美容実習、美容技術理論の資格を保有。						
【授業を通じての到達目標】									
カラーの知識、技術を幅広く身につけ、年度末のコンテストで自分の表現したいことを表現できるようにする。									
【学習内容】									
カラーの基礎技術、基礎知識の習得。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
カラーに必要な道具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9 / 18.24)	【到達目標】				⑨ (11/19、 20)	【到達目標】			
	ハイライト理論、展示					クリエイティブデザインの為のブリーチ			
② (9 / 25、10 / 1)	【到達目標】				⑩ (11/26、 27)	【到達目標】			
	ハイライトを実際にウィッグに入れてみる					ユニコーンカラー			
③ (10/2、 10/8)	【到達目標】				⑪ (12 /3.4)	【到達目標】			
	ハイライトウィッグをオンカラー					テスト前デモンストレーションの為のウィッグ作り			
④ (10/9、 10/15)	【到達目標】				⑫ (12 / 10.11)	【到達目標】			
	グラデーション理論、展示					模擬テスト			
⑤ (10/16、 10/22)	【到達目標】				⑬ (12 /17.18)	【到達目標】			
	ウィッグにグラデーションをやってみる					好きなデザインを作ってみる			
⑥ (10/23、 10/29)	【到達目標】				⑭ (/)	【到達目標】			
	バレイヤージュ理論、展示					テストの為の仕込み			
⑦ (10/30、 11/5)	【到達目標】				⑮ (/)	【定期試験】60			
	ウィッグにバレイヤージュをやってみる					テスト実技			
⑧ (11/6、 11/12)	【到達目標】				【成績評価の方法と基準】				
	クリエイティブデザイン理論				●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	美容実習Ⅱ (ワインディング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60	時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生			
講師名	北俣 京子	講師 プロフィール	市内サロン就職後、サロンワークで経験を積む その後北海道美容専門学校勤務 数年前よりベルエポック美容学校講師として勤務							
【授業を通じての到達目標】										
基礎を身につけ 完成度を高める										
【学習内容】										
一つ一つ技術を理解し レベルを上げる										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
WD用具一式・ノート・筆記用具・名札										
日時	授業計画				日時	授業計画				
① 9/18 9/20	【到達目標】 左BS 姿勢、スライス、ステムを理解しスムーズに巻ける				⑨ 11/20 11/22	【到達目標】 距離感、姿勢を意識して巻くことができる センター 7分 ・右BS 10分 ・左BS 9分				
② 9/25 9/27	【到達目標】 左BS 姿勢、スライス、ステムを理解しスムーズに巻ける				⑩ 11/27 11/29	【到達目標】 面に艶があり ロッド幅に毛が広がっている センター 7分 ・右BS 9分 ・左BS 8分				
③ 10/2 10/4	【到達目標】 センターのバランス確認 左BS 上巻き、下巻き バランス良くスムーズに巻ける				⑪ 12/4 12/6	【到達目標】 オンベース、オフベースを正確に巻ける センター 7分 ・右BS 9分 左BS 8分				
④ 10/9 10/11	【到達目標】 センター、右BSのバランス確認 左右のBSバランス良く シンメトリーに巻き収められる				⑫ 12/11 12/13	【到達目標】 オンベース、オフベースを正確に巻ける センター 7分 ・右BS 9分 左BS 8分				
⑤ 10/16 10/18	【到達目標】 根本よりしっかりとシェーブができ 面に艶があり シンメトリーに巻き収められる				⑬ 12/18 12/20	【到達目標】 全体のバランスが良くシンメトリー、面に艶がある 全頭 25分				
⑥ 10/23 10/25	【到達目標】 ラウンド・バランスを正確に巻き収められる 右BS 12分 ・左BS 10分				⑭ 1/15 1/17	【到達目標】 全体のバランスが良くシンメトリー、面に艶がある、正確なゴム掛けができる 全頭 25分				
⑦ 10/30 11/1	【到達目標】 ラウンド・バランスを正確に巻き収められる 右BS 11分 ・左BS 9分				⑮ 1/22 1/24	【定期試験】50 1年間で習得した技術を正確に巻く 時間内完成 25分				
⑧ 11/6 11/8	【到達目標】 センターを真っすぐにバランスよく収められる センター 7分 ・右BS 10分 ・左BS 9分				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】										

講義シラバス									
科目名	美容実習Ⅰ (オールウェーブ)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	園田 翔太郎 (藤 なつき)	講師 プロフィール	美容専門学校卒業後、サロンにてアシスタント・スタイリストとしての経験を積み、ベルエポックで学生教育にも携わる。国家試験科目の授業を担当し、国家試験合格に向けて学生をサポートしていきます。						
【授業を通じての到達目標】									
国家試験実技課題であるオールウェーブ7段構成の完成に向け、基本であるフィンガーウェーブの技術力をつける オールウェーブ7段構成を理解して、作ることができるようになる									
【学習内容】									
正確なウェーブ幅、テンションの効いた艶のあるウェーブ、リッジ、7段と縦 1/3のバランス、ピンカールの技術力をつける									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
AW道具一式・タオル4～5枚 筆記用具・雑巾(タオル2つ折り縫っていないもの)									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/23) (9/24)	【到達目標】 授業・到達目標の確認、授業を受ける上でのルールを理解する。 道具の名称、使い方、ウィッグの取り扱い方、ローションの作り方、基本姿勢を理解する。 ウェーブを作ることができる。 1段目止める。				⑨ (11/25) (11/19)	【到達目標】 フロントサイドのウェーブ幅を習得し、バランスの良い額を作れるようになる。 縦3等分のくり抜き、4、5、6段目縦幅を意識して横スライスを正確にとれるようになる 左右ウェーブのバランスを意識できるようになる。			
② (9/30) (10/1)	【到達目標】 フィンガーウェーブ、基本姿勢を理解する。 正しい目線、セットコームの持ち方、45度シェープの動作、ウェーブを作る上での技術力を身につけるようになる。 ウィッグの洗い方を理解する。				⑩ (12/2) (11/26)	【到達目標】 馬蹄の毛流れを作れるようになる。 スライスの取り方を理解し、カールを作れるようになる。			
③ (10/7) (10/8)	【到達目標】 正しい目線、セットコームの持ち方、45度シェープの動作、ウェーブを作る上での技術力を身につけ、2段目からウェーブ・リッジがつくれるようになる。				⑪ (12/9) (12/3)	【到達目標】 馬蹄の毛流れ、カールを作れるようになる。 右FS、左FSまでの額を作れるようになる。			
④ (10/14) (10/15)	【到達目標】 コームの使い方、基本姿勢を意識し、2段目ウェーブ幅のバランス、全体のウェーブ幅のバランスを理解できるようになる。 フルウェーブを理解する。				⑫ (12/16) (12/10)	【到達目標】 馬蹄～スカルプチュアカール、右FS、左FSまでの額 練習 タイムを意識して作れるようになる(27分)			
⑤ (10/21) (10/22)	【到達目標】 基本姿勢を意識し、2段目ウェーブ、リッジをバランス良くつくることができるようになる。バランスの良いウェーブ幅で7段目まで作れるようになる。				⑬ (12/23) (12/17)	【到達目標】 苦手な部分を強化することができる。 バランスの良い額が作れるようになる。(26分)			
⑥ (10/28) (10/29)	【到達目標】 2段目～7段目ウェーブ、基本動作、コームの使い方、目線を意識し、バランスの良いウェーブ幅、割れないウェーブ、リッジをバランス良くつくることができるようになる。タイムを意識してつくるができるようになる。15分で作れるようになる。				⑭ (1/20) (1/21)	【到達目標】 定期試験に向けて強化 25分でバランスの良い額ができるようになる。			
⑦ (11/11) (11/5)	【到達目標】 2段目～7段目ウェーブ:15分でつくれるようになる(強化) 3段目スカルプチュアカール:目線、姿勢、コームの使い方強化 割れないウェーブ、リッジ、バランスの良い2段目が作れるようになる。				⑮ (1/27) (1/28)	【定期試験】60 時間内に正確な額をつくることができる 1段目馬蹄～2段目～3段目スカルプチュア くり抜きながら、4、5、6段目スライス取り、 25分で時間内完成			
⑧ (11/18) (11/12)	【到達目標】 スカルプチュアカール復習 ピンギの手つきができるようになる。 3段目にスカルプチュアカールを正しく入れるようになる。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	美容技術理論Ⅱ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	飯嶋 美智江	講師 プロフィール	異業種より美容業界へ転職し、美容師と着付け師範の資格を取得。サロンワークを経て、美容学校の教職に就き30年目を迎える。これまでの国家試験科目を含む実技授業及びコンテスト指導の経験を活かした内容の授業を心掛け、現在は美容技術理論を担当。						
【授業を通じての到達目標】									
美容師の国家試験に向けて、専門分野の技術・理論の知識に限らず、カウンセリングを通してお客様への心遣いが重要なことを理解する。									
【学習内容】									
美容師の国家試験に向けて、専門分野の技術・理論の知識に限らず、カウンセリングを通してお客様への心遣いが重要なことを理解する。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
美容技術理論①・②教科書、B5判ノート、筆記用具					教科書の写真・図の理解を深める。				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/19)	【到達目標】 ＜定期試験フィードバック＞ 各自の弱点、理解できていない項目を自覚する。				⑨ (11/21)	【到達目標】 ＜定期試験対策①＞ 作業姿勢・人体各部名称・美容用具・シャンプーイングの理解を深める。 教科書①			
② (9/26)	【到達目標】 エステティック (基本手技・フェイシャルケア)に関する基礎知識を学び理解する。				⑩ (11/28)	【到達目標】 ＜定期試験対策②＞ ヘアカッティング・ヘアセッティングの理解を深める。 教科書①			
③ (10/ 3)	【到達目標】 メイクアップ① (概論・皮膚の生理と構造・色彩・パーソナルカラー・用具の種類と消毒方法・まつ毛エクステンション)に関する基礎知識を学び理解する。				⑪ (12/ 5)	【到達目標】 ＜定期試験対策③＞ パーマメントウェーブ・ヘアカラーリングの理解を深める。 教科書①			
④ (10/10)	【到達目標】 メイクアップ② (スキンケアからリップメイクアップまでの手順)に関する基礎知識を学び理解する。				⑫ (12/12)	【到達目標】 ＜定期試験対策④＞ エステティック・メイクアップの理解を深める。 教科書②			
⑤ (10/17)	【到達目標】 ネイル技術 (種類・道具・手順)に関する基礎知識を学び理解する。				⑬ (12/19)	【到達目標】 ＜定期試験対策⑤＞ ネイル技術の理解を深める。 教科書②			
⑥ (10/24)	【到達目標】 日本髪 (種類・名称・装飾品・技術手順)に関する基礎知識を学び理解する。				⑭ (1/16)	【到達目標】 ＜定期試験対策⑥＞ 日本髪・着付け技術の理解を深める。 教科書②			
⑦ (10/31)	【到達目標】 ＜②教科書 理解度確認テスト＞ エステティック・メイクアップ・ネイル技術・日本髪の範囲内				⑮ (1/23)	【定期試験】60点 ＜定期試験＞4択問題を中心に行い、読解力を鍛えることを目的とする。			
⑧ (11/ 7)	【到達目標】 着付け (礼装・花嫁衣裳・着物のいろいろ)に関する基礎知識を学び理解する。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
問題意識をもって授業への参加を心がけよう!!									

講義シラバス									
科目名	保健Ⅱ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	岡田 弥生	講師 プロフィール	看護師、母としての経験を活かし、いろいろな意味で皆さんのベルの母になれたらいいです。						
【授業を通じての到達目標】									
美容業に従事する者にとって密接な関係にある衛生管理について内容を十分に理解し、知識を得る。 国家試験に向けてポイントを整理することができる。									
【学習内容】									
美容師に必要なの人体の構造と機能、皮膚科学を理解し、授業をとおして知識を習得していくことができる。 教科書、プリントなどを用い、適宜小テストなどを行う									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
教科書・プリント・国家試験過去問題									
日時	授業計画			日時	授業計画				
⑯ (9/19)	【到達目標】 新学期に向けた目標設定。皮膚の構造(表面、断面)について理解する			⑳ (11/14)	【到達目標】 皮膚と付属器官の保健について理解する				
⑰ (9/26)	【到達目標】 皮膚の構造について理解する			㉑ (11/21)	【到達目標】 皮膚と付属器官の保健について理解する				
⑱ (10/3)	【到達目標】 皮膚付属器の構造(毛)について理解する			㉒ (12/05)	【到達目標】 皮膚と付属器官の保健について理解する				
⑲ (10/10)	【到達目標】 皮膚付属器の構造(脂腺、汗腺、爪)について理解する			㉓ (12/12)	【到達目標】 皮膚と付属器官の疾患について理解する				
㉑ (10/17)	【到達目標】 皮膚の循環器と神経系について理解する			㉔ (12/19)	【到達目標】 皮膚と付属器官の疾患について理解する				
㉑ (10/24)	【到達目標】 皮膚と付属器の生理機能について理解する			㉕ (1/16)	【到達目標】 これまでの授業の内容を理解しているか復習、確認				
㉒ (10/31)	【到達目標】 皮膚と付属器の生理機能について理解する			㉖ (1/23)	【定期試験】50 皮膚科学の学んだことをテストで確認				
㉓ (11/7)	【到達目標】 前半での学びについて確認テスト			【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業内容の理解する。授業態度、遅刻の指導									

講義シラバス									
科目名	衛生管理Ⅱ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	沖田 史代	講師 プロフィール	看護師として病院に勤務後、2018年より札幌ベルエポック美容専門学校にて講師として保健、衛生管理を担当しています						
【授業を通じての到達目標】									
美容師は髪や頭皮など人の身体に直接触れる仕事なので、使用する器具や施術における衛生管理の重要性と知識が習得できる									
【学習内容】									
美容師に必要な衛生管理の知識として、「感染症」「消毒法」を教科書を中心に解説し、練習問題を行う。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
衛生管理教科書、プリント									
日時	授業計画			日時	授業計画				
① (9 / 19)	【到達目標】			⑨ (11 / 21)	【到達目標】				
	美容業と感染症にについて理解できる。 空気・飛沫を介して感染する感染症についての知識が習得できる。				消毒法と適応上の注意に関する知識が習得できる。				
② (9 / 26)	【到達目標】			⑩ (11 / 28)	【到達目標】				
	飲食物を介して感染する感染症についての知識が習得できる。				理学的消毒法に関する知識が習得できる。				
③ (10 / 3)	【到達目標】			⑪ (12 / 5)	【到達目標】				
	血液等を介して感染する感染症についての知識が習得できる。				化学的消毒法に関する知識が習得できる。				
④ (10 / 10)	【到達目標】			⑫ (12 / 12)	【到達目標】				
	動物・節足動物を介して感染する感染症についての知識が習得できる。				すぐれた消毒法とその実施上の注意に関する知識が習得できる。				
⑤ (10 / 17)	【到達目標】			⑬ (12 / 19)	【到達目標】				
	感染症の具体的な対策 標準予防対策、客への対応などに関する知識が習得できる。				消毒法実習 各種消毒液、器具の使い方、消毒薬希釈法についての知識が習得できる。				
⑥ (10 / 24)	【到達目標】			⑭ (1 / 16)	【到達目標】				
	消毒とは 病原微生物と非病原微生物についての知識が習得できる。消毒の原理について理解できる。				消毒法実習 美容所の消毒、清潔法の実際について理解できる。				
⑦ (10 / 31)	【到達目標】			⑮ (1 / 23)	【定期試験】60				
	消毒の意義 汚染、感染、発病と消毒の意義についての知識が習得できる。殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義に関する知識が習得できる。				定期試験				
⑧ (11 / 7)	【到達目標】			【成績評価の方法と基準】					
	美容業務と消毒 毒に関連のある法の規定に関する知識が習得できる。			●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席・遅刻の管理と指導。忘れ物、授業態度の指導									

講義シラバス									
科目名	文化論Ⅱ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	大澤 慶太	講師 プロフィール	原宿ベル第1期卒業。美容師、ヘアメイクを経験し、現場で働きながら がら原宿ベルの講師として教育に携わり様々な授業を担当してきまし た。現在は座学の授業を主に担当。						
【授業を通じての到達目標】									
美容師国家試験の科目である文化論の内容を計画的に学ぶことで、スタイリストとしての知識を深めることを目標とする。									
【学習内容】									
文化論の内容を理解し、美容業の歴史、日本のファッション文化史について学び、過去問題の意図を読み取り解答を導けるようになる。 それぞれが文化論を研究し、テーマを考え、発表を行う									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
教科書文化論、筆記用具									
日時	授業計画			日時	授業計画				
⑯ (9/18,20)	【到達目標】 前期振り返りと、定期試験の解答確認			⑳ (11/20,22)	【到達目標】 国家試験の過去問題から傾向を分析し、ポイントを理解する				
⑰ (9/25,27)	【到達目標】 現代Ⅱ【1960年代～1970年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。			㉑ (11/27,29)	【到達目標】 文化論を研究し、テーマを考え、発表を行う:グループ決め				
⑱ (10/2,4)	【到達目標】 現代Ⅲ【1980年代～1990年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。			㉒ (12/4,6)	【到達目標】 文化論を研究し、テーマを考え、発表を行う:テーマ決め				
㉑ (10/9,11)	【到達目標】 現代Ⅲ【1980年代～1990年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。			㉓ (12/11,13)	【到達目標】 文化論を研究し、テーマを考え、発表を行う:練習				
㉒ (10/16,18)	【到達目標】 現代Ⅳ【2000年代以降】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。			㉔ (12/18,20)	【到達目標】 文化論を研究し、テーマを考え、発表を行う:発表する				
㉓ (10/23,25)	【到達目標】 和装の礼装について学び理解を深める。その歴史、特徴、TPOを知る。			㉕ (1/15,17)	【到達目標】 1年間の振り返りと確認問題の解答、解説				
㉔ (10/30,11/1)	【到達目標】 洋装の礼装について学び、理解を深める。その歴史、特徴、TPOを知る。			㉖ (1/22,24)	【定期試験】60 前期の内容と、後期の内容について確認できる内容の定期試験 筆記試験 4択				
㉕ (11/6,8)	【到達目標】 国家試験の過去問題から傾向を分析し、ポイントを理解する			【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
遅刻・欠席・教科書等の忘れ物に注意し、授業に参加しましょう。									

講義シラバス									
科目名	美容総合Ⅰ (サロンワーク&スタイリング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	園田 翔太郎 (大澤、土井、吉田、渋谷)	講師 プロフィール	美容専門学校卒業後、サロンにてアシスタント・スタイリストとしての経験を積む。これらの経験を活かし、ベルエポックで学生教育に携わる。それぞれの経験を生かし即戦力となる技術スキル・人間力を授業を通して学生に伝えていきます。						
【授業を通じての到達目標】									
サロン入社後、即戦力となるシャンプー、カラー、パーマ、スタイリングなどのアシスタント業務や接客、コミュニケーション力を身につけるとともに美容師としての在り方、考え方を学ぶ。									
【学習内容】									
シャンプー、トリートメント、ドライ、ブロー、スタイリングの基礎技術を学ぶ。 サロンワークに必要な知識、接客、コミュニケーション力を実践しながら学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
シャンプー道具一式・カラー道具一式・パーマ道具一式 デンマンブラシ・ドライヤー・アイロン・コテ・タオル・筆記用具 スタイリング剤					定期的な宿題がある場合も有				
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】					【到達目標】			
① (9/23) (9/24)	シャンプー、トリートメント、ドライ、スタイリングの流れをスピードを意識して実践できるようになる。(相モデル) 前期の振り返り				⑨ (11/25) (11/19)	髪質改善トリートメントを実践し、流れ・技術を理解する。(相モデル) アイロンワークの技術を身につける。			
② (9/30) (10/1)	シャンプー、トリートメント、ドライ、スタイリングの流れをスピードを意識して実践できるようになる。(相モデル)				⑩ (12/2) (11/26)	アシスタントに必要な知識を身につけ、実践しながら学内サロンに向けた準備をすることができる。 サロンワークを意識した動きができるようになる。			
③ (10/7) (10/8)	作品撮り 就活をイメージして、モデルに合わせたコンセプトを考えて作品をつくること ことができる 相モデル決め、準備、練習、コンセプト決め				⑪ (12/9) (12/3)	サロンワークの一連の流れを理解する。 学内サロンに向けた準備ができる。			
④ (10/14) (10/15)	作品撮り 就活をイメージして、モデルに合わせたコンセプトで作品をつくること ができる① 相モデル1人目実践 スタイリング～撮影、編集、加工→提出				⑫ (12/16) (12/10)	サロンワークの一連の流れを理解する。 学内サロンに向けた準備ができる。			
⑤ (10/21) (10/22)	作品撮り 就活をイメージして、モデルに合わせたコンセプトで作品をつくること ができる② 相モデル2人目実践 スタイリング～撮影、編集、加工→提出				⑬ (12/23) (12/17)	12/14(土)・12/21(土) 学内サロン運営 通常授業振替 ご家族・ご友人を招待して学んだ技術を実践することができる。			
⑥ (10/28) (10/29)	サイドシャンプーの手順について理解し実践できるようになる。				⑭ (1/20) (1/21)	定期試験に向けたトレーニング 一連の流れを実践して練習する。			
⑦ (11/11) (11/5)	サイドシャンプーの手順について理解し実践できるようになる。				⑮ (1/27) (1/28)	ご案内～シャンプー、トリートメント～ドライ～スタイリング 一連の流れをスムーズに実践し、相手に心地よい時間を提供できているか評価する。			
⑧ (11/18) (11/12)	タイムを意識したシャンプーの動作を理解する。(相モデル) シャンプー：15分 ドライ～スタイリング：35分目安				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
授業出席・遅刻の厳重管理と指導/忘れ物、授業態度の指導									

講義シラバス									
科目名	美容技術理論Ⅰ クリエイティブ&コンテストスタイル	必修 選択の別	選択	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	大澤 慶太、土井 恵美 (Suiii 原達也 堀下李)	講師 プロフィール	原→日本最大級コンテスト全国大会3位(北海道大会総合部門優勝3回)HDC2023モデル部門3位 プレイヤー&代表取締役社長 堀下→Suiii副店長 デビュー月売り上げNO.1 ドリブラ2024北海道大会入賞						
美容師としての「クリエイティブ」を表現できる作品作りについての知識、技術を学ぶ。 2年次の就職活動に向けての作品撮りの方法など様々な手法を学び、学年末のカットコンテストで学んだ成果を発揮できるようになる。									
【学習内容】									
主にカット&スタイリング技術でのクリエイティブの表現の仕方について学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
カット道具一式、ウィッグ、スタイリング道具一式					資料検索など				
	授業計画			日時	授業計画				
① 9/19	【到達目標】2			⑨ 11/21	【到達目標】2				
	オリエンテーション シラバスの確認 自己紹介 講師の作品撮り一覧紹介				作品撮り テーマを決めて表現する 相モデルで実施①(校舎内映え背景にて撮影)				
② 9/26	【到達目標】2			⑩ 11/28	【到達目標】2				
	女性像診断(ヘアメイク、ファッション、ヘアー、トータルから考えるジャンル分け女性像)				作品撮り テーマを決めて表現する 相モデルで実施②(校舎内映え背景にて撮影)撮った作品の発表会&アドバイス				
③ 10/3	【到達目標】2			⑪ 12/5	【到達目標】2				
	一大胆な発想力で作りたいデザインを切っちゃおう(ウィッグ作品制作)				アシスタント業務についての心得、業務内容、今からやるべきこと				
④ 10/10	【到達目標】2			⑫ 12/12	【到達目標】3				
	ウィッグ作品制作				就活説明(会社を受けるうえでの大切なこと、スタイルブック使用するうえでの工夫、リアルティブとクリエイティブの関係性)				
⑤ 10/17	【到達目標】2			⑬ 12/19	【到達目標】3				
	クリエイティブなカットスタイルを学ぶ(制作した作品に対して大会入賞者がアドバイス)				コンセプトシートの作成				
⑥ 10/24	【到達目標】6			⑭ 1/16	【到達目標】3				
	メンズ&レディースカットのポイント(実践)				テスト前練習				
⑦ 10/31	到達目標 2			⑮ 1/23	【定期試験】60				
	ハイクオリティーからベーシックまでのテクニックカラー講習				定期試験 学年末カットコンテストに向けて試作品の作成、評価				
⑧ 11/7	【到達目標】2			【成績評価の方法と基準】					
	作品撮り準備(テーマ決め、デザインの展開構成)			●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
忘れ物をしないこと、遅刻欠席に気を付ける。									

講義シラバス									
科目名	美容総合Ⅱ (スタイリング・アレンジⅠ)	必修 選択の別	選択 必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	メイクアップアトリエ	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
美容師として必要なスタイリング、ヘアセット技術が出来るようになる									
【学習内容】									
整髪料の使い方・アイロンの使い方を理解し、様々なシーンに合わせたヘアセットが出来るようになる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘア道具一式									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/20)	【到達目標】				⑨ (11/22)	【到達目標】			
	オリエンテーション・アイロンの巻き方					浴衣をテーマにヘアセット			
② (9/27)	【到達目標】				⑩ (11/29)	【到達目標】			
	ピン打ち・黒ゴムが結べるようになる					雑誌をテーマにヘアセット			
③ (10/4)	【到達目標】				⑪ (12/6)	【到達目標】			
	ダウンスタイル、整髪料の使い方					ショーをテーマにヘアセット			
④ (10/11)	【到達目標】				⑫ (12/13)	【到達目標】			
	様々な編み込みが出来るようになる					成人式をテーマにヘアセット			
⑤ (10/18)	【到達目標】				⑬ (12/20)	【到達目標】			
	ハーフアップが作れるようになる					撮影をテーマにヘアセット			
⑥ (10/25)	【到達目標】				⑭ (1/17)	【到達目標】			
	編み込みを使ったヘアセット					相手のやって欲しいヘアセット(定期試験①)			
⑦ (11/1)	【到達目標】				⑮ (12/24)	【定期試験】60			
	アップスタイルが作れるようになる					相手のやって欲しいヘアセット(定期試験②)			
⑧ (11/8)	【到達目標】				【成績評価の方法と基準】				
	結婚式参列者をテーマにヘアセット				●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	美容総合Ⅱ (ビューティメイクⅠ)	必修 選択の別	選択 必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	メイクアップアトリエ	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
美容師として必要なメイク技術、スキンケア、コスメの知識などを学ぶことができる									
【学習内容】									
タイプ別のメイクの特徴知り、様々なイメージやシチュエーションに合わせたメイクができるようになる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
日時	授業計画			日時	授業計画				
① (9/20)	【到達目標】小テスト2点			⑨ (11/22)	【到達目標】小テスト3点				
	オリエンテーション、立体的なベースの作り方、ツヤ肌の作り方、スキンケア(相モデル)				カラーメイク(暖色or寒色)相モデル①				
② (9/27)	【到達目標】小テスト3点			⑩ (11/29)	【到達目標】小テスト3点				
	眉のゴールデンプロポーションを理解することができる				カラーメイク(暖色or寒色)相モデル②				
③ (10/4)	【到達目標】小テスト3点			⑪ (12/6)	【到達目標】小テスト3点				
	パーソナルカラー(ベース、眉までセルフでしてくる)				雑誌のイメージでメイク 相モデル①				
④ (10/11)	【到達目標】小テスト3点			⑫ (12/13)	【到達目標】小テスト3点				
	顔のゴールデンプロポーションを理解することができる(セルフ)				雑誌のイメージでメイク 相モデル②				
⑤ (10/18)	【到達目標】中間チェック5点			⑬ (12/20)	【到達目標】小テスト3点				
	タイプ別メイク説明、顔分析してコンセプトシート作り				定期試験用コンセプトシート作り、練習				
⑥ (10/25)	【到達目標】小テスト3点			⑭ (12/17)	【到達目標】				
	キュート、クール、エレガント、フレッシュから選んで相モデル①				定期試験 コスメブランド広告メイク①相モデル				
⑦ (11/1)	【到達目標】小テスト3点			⑮ (12/24)	【定期試験】60				
	キュート、クール、エレガント、フレッシュから選んで相モデル②				定期試験 コスメブランド広告メイク②相モデル				
⑧ (11/8)	【到達目標】小テスト3点			【成績評価の方法と基準】					
	韓国風アイメイクデモ、目元のみセルフ つけまつ毛			●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	美容総合Ⅱ (カラーテクニック)	必修 選択の別	選択 必修	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	イナガキリカ Bud	講師 プロフィール	札幌ベルエポック卒業後、美容室Budのスタイリストとして勤務。札幌のトレンドカラーを生み出している。						
【授業を通じての到達目標】									
最先端のトレンドカラーを身につける									
【学習内容】									
トレンドカラーの習得、技術UP									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
カラーに必要な道具・ウィッグ・クランプ・はけ・カップ・マドラー タオル・グローブ等					イメージシート作成、デザインのスケッチ				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9 / 20)	【到達目標】				⑨ (11 / 22)	【到達目標】			
	オリエンテーション、シラバスの説明					コンテストウィッグ作成イメージ			
② (9 / 27)	【到達目標】				⑩ (11 / 29)	コンテストウィッグ作成①			
	ブリーチ説明、ブリーチ塗布をクリームを使って練習								
③ (10 / 4)	【到達目標】				⑪ (12 / 6)	【到達目標】			
	ブリーチ塗布練習					コンテストウィッグ作成②			
④ (10 / 11.18)	【到達目標】				⑫ (12 / 13)	定期試験用コラージュ作成			
	ハイライトデモ、クリーム塗布、ハイライト練習								
⑤ (10 / 25)	【到達目標】				⑬ (12 / 20)	【到達目標】			
	トレンドのデザインカラーのシャドールーツについて					コラージュ作品のブリーチ塗布①			
⑥ (11 / 1)	【到達目標】				⑭ (1 / 17)	【到達目標】			
	シャドールーツ実践					ブリーチ塗布②			
⑦ (11 / 8)	【到達目標】				⑮ (1 / 24)	【定期試験】60			
	シャドールーツ②					コラージュした作品をつくる、オンカラー			
⑧ (11 / 15)	【到達目標】				【成績評価の方法と基準】				
	ブリーチウィッグに好きなデザインをいれていく				●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	美容総合Ⅲ (メイクテクニック)	必修 選択の別	選択 必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	メイクアップアトリエ	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。□						
【授業を通じての到達目標】									
美容師として必要なメイク技術、メイク技術の応用が出来るようになる									
【学習内容】									
様々なメイクの特徴を理解し、シチュエーションやイメージ別でメイクが出来るようになる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具一式									
日時	授業計画			日時	授業計画				
① (9/20)	【到達目標】			⑨ (11/22)	【到達目標】				
	オリエンテーション・スキンケア～コントウアリング				年代別メイク②				
② (9/27)	【到達目標】			⑩ (11/29)	【到達目標】				
	様々な眉の形を理解し、描ける様になる				成人式メイク(相モデル)				
③ (10/4)	【到達目標】			⑪ (12/6)	【到達目標】				
	アイシャドウのグラデーションが綺麗に出来るようになる (縦グラ・横グラ)				コレクションメイク①				
④ (10/11)	【到達目標】			⑫ (12/13)	【到達目標】				
	修正メイク①(相手のコンプレックスを理解し、修正メイク ができる様になる				コレクションメイク②				
⑤ (10/18)	【到達目標】			⑬ (12/20)	【到達目標】				
	修正メイク②(相手のコンプレックスを理解し、修正メイク ができる様になる				クリエイティブをテーマにコンセプトシート・テスト練習				
⑥ (10/25)	【到達目標】			⑭ (1/17)	【到達目標】				
	撮影メイク(相モデル)				定期試験①				
⑦ (11/1)	【到達目標】			⑮ (1/24)	【定期試験】60				
	模写メイク(相モデル)				定期試験②				
⑧ (11/8)	【到達目標】			【成績評価の方法と基準】					
	年代別メイク①			●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									